



高校総体が終わりました。入学後から努力を続けてきた部活動の最後の大会となった生徒も多いと思います。しかし、東北大会などの次の目標に向けて取り組む生徒もいます。そして野球部は甲子園予選。文化部は南高祭での展示・発表など、高校総体以降も部活動に取り組む生徒も多いです。最後の最後まで部活動に励むことも南高生の強みの一つです。しかし、自分の進路目標達成に向けて、**これまでの意識を切り替える、という時期は必ず必要です**。「時期が来たら切り替える」というギアチェンジのタイミングを逃さないようにしてください。部活動と両立しながら続けてきた「これまでの勉強のスタイル」からギアを切り替えて、「自分の目標に向かって勝負する勉強」が始まります。人それぞれ、部活動が終わるタイミングは異なりますが、**自分が勝負する受験の日は動かないので、残された時間を考えながら、夏休み前のこれからの1日、1時間を大切にしてください**。

## 2年次のスタディーサポート分析会

4月9日に実施したスタディーサポートの結果を受けて、ベネッセから石山さんを招き、5月1日に分析会を実施しました。その分析を受けて、お伝えしたいことがあります。

まず、勉強時間が非常に少ないという事実です。今回の調査では、平日の学習時間が29分で、昨年度の4月と比較して47分減少しています。休日の学習時間は51分で、昨年度の4月と比較して87分減少しています。受験で勝負するという観点では、正直、勝負にならない数字です。例えば部活動で、平日の練習時間が30分、休日が1時間だとします。たったそれだけの練習時間で大会勝利を目指しても、まず無理です。その反面、四年制大学（国公立）志望者が、昨年度より10%ほど増加しています。夏休みにクラス担任との保護者面談があります。それに向けて、ご家庭でお子様と進路目標や学習時間について話をする時間を設けてください。自分が叶えたい夢は何か、その夢を叶えるためにどう勉強していくのか、その部分をぼんやりさせてしまうと、何となく過ぎ去った1年間になってしまいます。**周りの友人の勉強時間は関係ありません。自分のこれからの人生をどうしたいのか、そのために何をすべきか、自分自身に問いかけてみてください**。

ちなみに、「自分は特別選抜（総合型・学校推薦型）で勝負したいと考えているから」という理由で、勉強に力を入れないという話をよく聞きますが、人生は進学や就職で終わるわけではなく、その先の様々な問題解決に向き合っていくことになります。部活動や学校行事とともに、「勉強に向き合うための努力・計画性・継続する力」は人間を成長させます。また、「勉強はしないけど特別選抜の対策（校外活動・小論文・面接練習）だけは頑張る」という生徒を、私は見たことがありません。**Aをそれなりに取り組む人は、Bもそれなりに取り組みます**。「自分が受験で使わない教科だから」「自分の進路に勉強は関係ないから」という理由で授業をおろそかにしてしまうと、授業をおろそかにする習慣が身につきます。一度怠け癖が付くと、本当に必要なことに対しても「その癖（習慣）」が出てしまいます。「何をするか」ではなく「誰が何をするか」です。まずは**「頑張る自分」を作ることが大切です**。今回のスタサポの結果を分析する以前の問題として、勉強時間が足りなすぎます。「2兎を追いかけて2兎を手に入れる」という力が南高生にはあるはずですよ。

## 1 学期期末考査に向けて ～テストで結果を出すことの大切さ～

4月の1年生に向けたオリエンテーションで、自分のやりたいことは何かを考える前に「まずは活動する」「自分に出来ることは何かを知る」ことが大切だとお伝えしました。勉強も同じで、「勉強したい→勉強する→テストで満点が取れた」ではなく、「**テストで満点が取れた→嬉しい→もっと勉強したい→勉強する**」という流れになっています（そもそも勉強することが好きな人は例外です）。よって「勉強したい」と思うようになるためには、まずテストで「結果を出す」ということが非常に重要です。それが例えば小テストであったとしても、満点を取ると誰だって嬉しくなります。特に1年生の皆さんは、高校に入学して初めての大きな校内テストです。是非ここで「結果を出す」ことにこだわって勉強してほしいと思います。この勝負はとても大きな勝負です。ここで勉強に対する自信をつけることができれば、「もっとやってみよう」という勉強への前向きな気持ちが生まれます。決して「何となく」「中途半端な努力で」テストを受けないでください。周りの友人の勉強時間は関係ありません。**自分との戦いです**。全教科で「自己ベスト」を目指して今からの2週間を過ごしてください。**1週間前からでは自己ベストには届きません**。

## 進路参考資料が完成しました ～2・3年次生徒に配付済みです～

1年次は今後の配付を予定していますが、2・3年次の生徒に対して「進路参考資料」を配付しました。進学関係については「校内テスト・模擬試験の予定」「卒業生の進路状況（特別選抜・一般選抜）」「指定校推薦依頼大学」「受験手続きの方法」「共通テストの本校平均点」「校内テストと大学合格の関係」「受験にかかる費用」を掲載しております。就職関係については「卒業生の就職状況・就職先」「採用内定までの流れ」を掲載しております。

資料の最後には、卒業生が後輩に残した「合格体験記」が掲載されており、努力を積み重ねて合格を勝ち取った先輩の取り組みや、合格する上で大切なことを具体的に知ることができます。**合格体験記には、教員として生徒に伝えたいことが驚くほどすべて書かれており**、「やはり合格を勝ち取る生徒は、色々と自分で工夫しながら頑張っているんだな」と感心させられました。

3年次は、5月27日の7校時、体育館で進路参考資料について説明会を行いました。前回の進路通信で、3年次だけに配付している「進路の手引き」を、必ず保護者の方々もご覧くださいとお伝えしましたが、この「進路参考資料」についても内容をご確認ください。前回もお伝えした通り、受験するのは生徒本人ですが、**受験までの流れや留意点を生徒と保護者が情報共有することで、生徒も保護者が応援してくれているという安心感を持つ**と思います。保護者の方も、実際どういうスケジュールで生徒が動いているのか、具体的にイメージすることができると思います。

何卒よろしくお願いたします。

### 進路参考資料

令和8年度



青森県立弘前南高等学校